

すこやかネットだより

平成27年(2015年)2月

[第25号]

第九中学校区地域教育協議会
事務局 豊中市立第九中
TEL 06-6831-0751

*すこやかネットは中学校区を単位とした「学校」「家庭」「地域」のネットワークです。

第13回クリーンアップ

2014.11.15
撃がった!
九中校区

街をきれいに!!

校区クリーンアップ大作戦

参加者: 約1000名!!



第13回「クリーンアップ大作戦」の作戦開始を告げたのは、11月15日9時から校区を回ったクリーンアップ応援号です(写真右上)。クリーンアップ号は、第九中の美術部と書道同好会がコラボした広報車です。放送は九中放送部が担当。♪When I find myself in times of trouble, mother Mary comes to me, "Let it be". なすがままに楽しく掃除をしよう、九中校区がきれいになるならBGMをバックに広報活動をおこない、10時前には、1000名以上の方々が4つの小学校に集まって、クリーンアップ大作戦をスタートさせたのでした。

新田 西丘 南丘 新田南 校区はひとつ

～西丘小学校区編～

朝8時、西丘小学校の「みどりの広場」には早くも「かまど隊」のお父さんたち、そして「いも準備隊」の社協さん、PTAのみなさん方が集合。手際よく、焼きいもの準備がされていきます。

10時、保育所や小学校の子どもたち、そして、九中生や地域の方々も運動場に集まってこられ、クリーンアップ大作戦の隊長であるPTA会長より挨拶と説明や注意事項等のお話がありました。

そのあとは、①公民分館長さん、②父親会会長さん、③健育委員長さん、④西丘小学校の先生、⑤PTA会長さんを先頭に、5コースに分かれてゴミ拾いにでかけました。

男ボラさんは、アートロードを、豊寿荘さんは敷地周りをきれいにしてくださいました。

地域の方「ごみは少なかったもののタバコのポイ捨てが多かったのは残念です。町をきれいにした後は、美味しい焼きいもをいただき、心もほっこりしました。～アンケートより～」



～新田小学校区編～

さわやかな秋の晴天に恵まれ、参加されたみなさんは、和気あいあい楽しみながら活動されていました。新田小に戻ってきた方からは、「楽しかった。やってよかった。」「街がきれいになり、良い活動だと思います。」「我が子と活動してよい思い出ができました。」「子どもたちがとても熱心だった。」「ごみを拾うことで地域に貢献できました。子どもの心も育つと思います。」などの感想を聞くことができました。また、子どもたちの中からは、「思ったよりたくさんのごみが拾えて驚いた。」という声もありました。子どもたちは、おうちの人やお友だちとの会話もあって、まじめに取り組みながら、みんなで働く楽しさを感じていたようです。拾ったごみは、種類ごとに分別して袋にまとめました。



小学校教頭先生「活動の後は、全員そろってから、愛情のこもった豚汁を満足そうに味わっていました。子どもたちのがんばりが心に残りました。」

～南丘小学校区編～

小学生、中学生、千里青雲の高校生、大人の方が、いっぱい集まり、A～Cの3つの班に別れての掃除です。道中には、自転車や椅子が捨てられ、千里青雲高校の生徒も奮闘してくれます。草むらに入ってゴミを拾い、ひつつき虫をいっぱい、ジャージにつけて戻ってきてくれました。掃除の終わりには、豚汁が待ってます。朝はやくから、PTAを中心に健全育成会など地域の団体の方が作ってくれ、小学生が先！という言葉に、中学生は誰も文句を言いません。後ろに並んで。偉い。（あたりまえですが）お替わりしていいよの声に、いっぱい「おかわり」する小学生、中学生の姿に身も心も温まりました。



小学校教頭先生「ふだん小学生から大人まで、一緒になって豚汁を食べることはありません。みんなで食べるといっそう美味しい。ほのぼのとして、とっても良かったです。この行事が末永くずっと続いてくれることを願います。」

～新田南小学校区編～

小学校の校長先生がクリーンアップの意義をお話され、代表の方から今年の大作戦ポイントはここだ！の説明がありました。5つのコースに別れ、アップダウンの坂をものともせず、ゴミをたくさん集めました。清掃が終わり小学校に戻ってくると豚汁です。小学校で育てたおイモが入っている豚汁。味付けは公民分館&PTAが担当してくださいました。あちらこちらから美味しい！の声。小学校の先生と卒業生である中学生が、なつかしい話で盛り上がり、微笑ましい光景が随所に見られました。



地域の方「子ども、大人、いろいろな方たちとクリーンアップ大作戦に参加させていただき楽しい朝を過ごした一老人です。初めてだったのですが、これからは是非参加したいです。それに温かい豚汁ありがとうございました。」

すこやかネットだよりは、九中HPにてカラーでご覧いただけます。

—子ども達のネットトラブルをめぐる最新事情—



～『デジタルタトゥー』は永遠に残ります～家庭教育講演会～



11月26日。九中校区保護司会・健全育成会・地域教育協議会主催の家庭教育講演会を九中体育館でおこないました。講師にはNIT情報技術推進ネットワーク代表の篠原先生をお招きし、～子ども達のネットトラブルをめぐる最新事情～についてお話をさせていただきました。

スマホにひそむ危険 スマホや無料通信アプリ（LINE）等は便利なグッズですが、危険な出来事が起こる可能性も増えています。需要もあり楽しくもあるツールに深化していくなかで、身近に危機感を覚える熱いお話を篠原先生

はしてくださいました。約350人の耳目が、先生の一言、こわいエピソードに集中「へー、居場所が特定されるんだ」「顔認証で名前や住所までわかる」「冗談や！で投稿した写真で、学校や会社に出社や登校ができない」「デジタルタトゥーは永遠に消えない」人生を棒に振る危険性さえ……。一度SNSなどネットの世界に出た言葉や画像は、無限にコピーされ一生消えることはありません。将来、結婚や就職をする際に禍根を残す場合もあります。今は、ユーチューブでの投稿動画が危険です。アダルトな映像、解剖の映像・・・青少年の心に悪影響を受ける映像が垂れ流されている現状をお話してくださいました。

篠原先生のお話は首尾一貫。『スマホやSNSをやめよう』というのではなく、みんなが使う時代の中で『危険性を知り、設定や使い方を理解した上で利用しよう。友達と直接会話をし、家族と話しあおう』というもので、聞いて満足、得るものが多い貴重な時間となりました。



地域教育協議会井川会長「九中校区健全育成会では各小中学校の協力を得て『健全育成標語とポスター』を募集しました。そのうち、スマホやSNS関係の標語をいくつか紹介したいと思います（右の標語）。スマホについて、子どもたちなりにしっかりと見据えていると思う反面、危なっかしいところもあるように感じます。大人として子どもをトラブルに巻き込ませないためにも、本日のお話をしっかりと吸収したいと思います。最後に小学3年生の作品なのですが、大人も気をつけなければと考えさせられる標語でした。まず、大人が手本を示さないといけませんね。」

- ④ 文字打っ手 一秒待って（手） 考えて（手）
- ③ 指じゃなく 口を動かせ その会話
- ② 本当に そのクリック 安全か？
- ① ツイッター 誰が見てるか わからない

歩くとき スマホをやるのは やめなさい。

千里新成人のつとい 祝 成人おめでとう。



1月12日、日本全国で成人式が、九中体育館では、「千里新成人のつとい2015」が行われました。

成人式は、新成人が、大人になったことを自覚するための「行事」ですが、20歳を迎えた大人達にとっては、懐かしい友、5年後の友と再会する「同窓会」でもあります。そのおもいを実現

してあげよう！と公民分館（Tag4）、地域の方が中心となって企画してくださったのです。

明日の九中校区を担う若者達を、あったか手作り企画で祝福する九中体育館！5年の歳月を、まき戻して行きます。時は人の都合などお構いなしに過ぎて、とどまることがないといいますが、今、20歳の新成人の時間は、確かに5年前にとどまっていました。

歳月は人を待つ。恩師の一言に胸があつくなり、地域の方の愛情豚汁で胃袋もあったかいんだから〜♪と心と一緒に温もりの時を刻んだのです。テーブル席では、恩師とスーツ姿が笑顔に揺れ会話にも花が咲き、写真撮影用のプレス会場前では、振り袖姿が次から次へと、まるで絵巻物のようでした。最後は、当時の先生の指揮の下、集合写真（写真左上）では一い20歳！若者が、大人への一步を踏み出しました。

Tag4 実行委員会 神谷委員長「今回は2回目の成人の集いということでしたが、大勢の新成人が集まってくれ、九中体育館が『若さ』と『熱気』で溢れていました。これからの日本もこれで安心！そんな感じを受けました。」

—九中校区一斉あいさつ運動—

12月1日～5日

おはよう ございます



冬のあいさつ運動は、九中校区一斉あいさつ運動です。心の通う町づくりをめざすため、校区の小学校PTA委員さんや健全育成の方々も通学路に立って「おはようございます〜。」とよびかけ、児童、生徒をあちらこちらで見守って下さっています。

第九中学校生徒指導担当者「挨拶運動は、不審者の被害にあわないようにという取り組みでもあります。登校、下校ともに、一人歩きを避け、団子登下校を意識して人通りの多い道を通るようにしましょう。」